

富津市社会教育委員会議録

1	会議の名称	令和3年度富津市社会教育委員会議第2回臨時会議
2	開催日時	令和3年12月7日(火) 午後2時00分～午後4時00分
3	開催場所	富津市役所503・504会議室
4	審議等事項	(1) 富津市立図書館整備基本計画(案)について (2) その他
5	出席者名	(社会教育委員) 高橋栄二、杉田玲子、宮内和男、寫津澄夫、大野泰代、 森千枝子、石井喜美子、佐藤泰代 (事務局) 岡根教育長、平野教育部長、平野公民館長、 樋口生涯学習課長、伊藤生涯学習課長補佐、 網代主査、前田社会教育主事、杉本司書、 伊藤社会教育指導員
6	公開又は 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	14人(定員14人)
9	所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話：80-1345
10	会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

富津市社会教育委員会議録

発言者	発言内容
樋口課長	<p>定刻となりましたので、只今から令和3年度、富津市社会教育委員会議、第2回臨時会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、年末のご多用のところ、ご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>会議の進行を務めます、生涯学習課長の樋口でございます。よろしくお願いたします。</p> <p>会議に先立ちまして、伊藤課長補佐より配布資料の確認をさせていただきます。</p>
伊藤課長補佐	<p>(資料確認)</p>
樋口課長	<p>次に、本日の出席状況でございますが、</p> <p>本日の出席委員は8名、欠席委員は5名です。</p> <p>従いまして、過半数の出席がございますので、社会教育委員会議運営規則第3条第5項による、定足数を満たしていることをご報告いたします。</p> <p>次に、会議の公開について説明させていただきます。</p> <p>本会議は、富津市情報公開条例第23条第1項により公開となります。よって、会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご了承願います。</p> <p>それでは、はじめに、高橋委員長からご挨拶をお願いいたします。</p>
高橋委員長	<p>年末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>最初に、過日、富津市制50周年記念式典があり、森委員、宮内委員、大野委員の3名が表彰されました。おめでとうご</p>

	<p>ございます。</p> <p>次に、学びの門についてですが、2月13日富津公民館で、千葉交響楽団のバレンタインコンサートがあります。学びの門実行委員会の委員長は文化協会の吉本委員長さんで、とても熱心に取り組まれております。ぜひ、足を運んでいただければと思います。</p> <p>また、過日、千葉県社会教育振興大会に参加したところ、素晴らしいお話を聞くことが出来ました。講師は、東京の立川で15年間、自治会長をされていた女性の方で、行政の力は借りるが、できる限り自分たちでやる、という姿勢で素晴らしいと思いました。</p> <p>その翌日に4市の君津地方社会教育委員連絡協議会がありまして、いろいろと情報交換をしました。例えば、木更津市の図書館や君津市の図書館は年数が経っており、建て直しなどが必要になるということでした。前回の会議で確認したところ、富津市の新しい図書館では、イオンモールさんが管理をやってくれるということですので、そういう心配はないと思います。</p> <p>これから、短い時間の中ですが、皆さんと協議していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。</p>
樋口課長	<p>ありがとうございました。続きまして岡根教育長からご挨拶を申し上げます。</p>
岡根教育長	<p>本日は、大変お忙しい中、社会教育委員会議第2回臨時会議にお集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>議題は、富津市立図書館整備基本計画（案）についてであります。先般、富津市立図書館整備基本計画（素案）を委員の皆様へ提示し意見を求めながら、そして、市民の方からも意見を求めていこうということで、前回の会議は終わりました。</p>

た。

そして、1か月にわたり意見募集し、いただいたご意見とその意見に対する市の考え方を皆様に提示させていただき、素案から案へと変更した点等を確認していただければと考えております。

また、12月議会においても議員の方から図書館についてご質問をいただきました。

その中で市長は、「行財政改革の途中ではあるけれど、今回イオンモール富津からいただいた提案は、初期導入費用や維持管理費用の面で大きなメリットがあるので、図書館のない本市にとって図書館整備の施策を踏み出す第一歩であり、絶好の好機と受け止めています。生涯学習の拠点として図書館設置に向け、取り組んでまいります。」と述べました。

私も、生涯学習に対する市の考え方についての問いに対し、「生涯学習の施策の方向として、人と人があたたかくつながり、生涯にわたり、健康で活躍できるまちを目指し、施策を展開します。その中でも、現在進めている市立図書館設置につきましても、あらゆる人々に開かれた市民の生涯学習の拠点施設として取り組んでおり、重要な市の責務と考えております。

市民の皆さんの意見を取り入れながら、富津市ならではの特色のある図書館を作り上げていきたいと思っております。」と答弁させていただきました。

私たちの考えている図書館は、イオンモール富津を基幹館として、公民館や市民会館の図書室、移動図書館を連動してネットワークを作っていくという構想であります。

君津市のような大きな図書館をつくることはできませんけれども、富津市ならではの、特色のある図書館をつくり上げていきたいと思っております。

また、市民の皆様から、さまざまご意見をいただいております。

樋口課長	<p>ますが、図書館協議会を作って、毎年しっかりとチェックしていきながら、皆さんの要望や意見取り入れた図書館を少しずつ成長させていけたらと考えております。</p> <p>本日は、社会教育委員の皆様の、忌憚のないご意見をいただき、計画案の審議を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>それでは、早速、議事に入らせていただきます。</p> <p>これより議事の進行につきましては、社会教育委員会議運営規則第3条第4項により、委員長が議長となる、とされていることから、高橋委員長に議長の職を務めていただきます。</p> <p>高橋委員長、よろしくお願ひいたします。</p>
高橋委員長	<p>それでは、私が本日の議事進行を務めさせていただきます。円滑な議事運営となりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>議題に入る前に、会議録署名人2名の指名を行いたいと思います。慣例により私から指名することにご異議ございませんか。</p>
各委員	<p>(「異議なし」との声あり)</p>
高橋委員長	<p>ご異議もないようですので、宮内委員と森委員を指名いたします。よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、次第の4、議題に入ります。本日の議題は1件です。「富津市立図書館整備基本計画（案）について」、事務局の説明を求めます。</p>
伊藤課長補佐	<p>それでは、「富津市立図書館整備基本計画（案）」について、これから、3つの内容に分けてお話しいたします。</p>

まず、1つ目は前回の会議以降の経過について、お話ししたあと、2つ目として、市民の皆様からいただいた「ご意見」と「それに対する市の考え方」の概要をお話しし、最後に、(素案)から(案)の〈原案〉への修正点の概要をご説明いたします。

最初に、1つ目として、前回会議以降の経過です。イオンモール富津からいただいた提案について、6月の市議会全員協議会で発表して以来、市民の方々からも非常に高い関心をお寄せいただいておりますため、市の諸計画としてはおそろく初めて、パブリックコメントに出す(案)の前の状態で市民に公開し、意見を募集いたしました。

10月14日の臨時会議での協議後に、整えました(素案)を10月19日に公開し、11月18日までの1か月間、意見募集をいたしました。

その後に、前回の会議の終わりに、杉田副委員長から勉強会のご提案があり、その図書部会では、集まった意見も共有しながら、協議いただきました。

次に、2つ目ですが、「意見」と「それに対する考え方」の概要でございます。市民の方々からは、28件の意見が寄せられました。

イオンモール富津内への図書館設置に賛成するご意見がある一方、図書館設置には、否定的なご意見もありました。また、経費やスケジュールについてのご意見、管理運営や蔵書についてのご意見・ご要望など、様々な意見が寄せられています。

いただいた貴重なご意見・ご要望は、できる限り基本計画に反映するという一方で、当初は公表・回答等は行わない、としておりましたが、ありがたいことに、大きな反響をいた

いただきましたことから、市としての考えを付して公表することにいたしました。

それでは、次に、修正点の概要を説明いたします。

修正表と案をご覧ください。

(案)の1ページ、「2本計画の位置づけ」ですが、冒頭にサービスの内容があるのはおかしいのではないかとのご意見がありましたので、目的を先にしております。

(案)の3ページをご覧ください。

色々なサービス内容が盛り込まれているが、実現可能なのかとの意見や、分野別冊数や図面が欲しいというご意見がございましたので、平面イメージ図等を新たに挿入しました。

特色としましては、児童コーナーを全体の3割以上設け、児童書を約2万冊とし、新規に揃える数としては最大限に近い数字となっております。

また、通常、一般書の中にあるヤングアダルトコーナーを独立させ、図書離れと言われている中高生をターゲットとしたコーナーの設置を予定しています。

それに伴い、4の開館時間及び閉館日と5の蔵書冊数を入れ替えてあります。

計画(案)の6ページの(4)「①ひとりで没頭できる場」として、学生など学習するスペースが必要な方々のために、学習スペースを設けたいと思います。

それに関しまして、「②みんなでゆっくり過ごせる場」には、もともとは商業施設ということもあり、小さな声ならお話しできるような、しんとしすぎない空間で、とありましたが、相反する内容ではないかのご心配の声をいただきました。

実際、現地を確認したところ、館内放送等のボリュームも下げられるとのことでしたので、絵本に囲まれ読み聞かせもできる児童コーナーや、新聞・雑誌をゆったり広げられるコ

コーナーなど、といった表現に変更させていただきました。

先ほど3ページの図面にもありましたように、図書館入口の反対側を静かな読書・学習スペースにし、入口近くに児童コーナーを配置させていただきました。

右下に、採光可能範囲とありますが、外壁に面しており、現在は従業員の休憩スペースとして利用されており、窓が設けられているので、利用者の皆さんがのびのびしていただける場所にしたいと考えております。

次に、修正表の3ページ公民館・市民会館図書室の役割の箇所です。こちらは、最もご意見が多くいただいたのが、公民館とネットワークでつなげる際、富津地区の富津公民館の図書室を不足している閉架書庫として活用しますと書いたところ、富津公民館はスロープがあり、1階にある図書室なので、かなり利用しやすいので、利用を続けた方が良いといった意見や無くさないでほしいという意見が多くありました。

このことから、富津公民館の図書室は当面、貸出・返却事務を継続していくという方向になりました。

閉架書庫としては、不足することは目に見えておりますので、他の場所も含め検討し、図書室の在り方等を考えていく中で、設置することが決まっております図書館協議会、公民館運営審議会、社会教育委員会議等で検討しながら、今後の活用を考えていきたいと思っております。

次に、その下をご覧ください。

今後、図書館の開館後は、図書館協議会としてご発言いただくだけでなく、ボランティアとして活動していただける方々のご協力を仰ぎながら、市民と共に成長していけるような図書館にしていけたらといった表現にしております。

修正表4ページをご覧ください。

イオンモール富津内に設置した場合と同規模の図書館を新たに建設した場合の金額を比較しました。

前回、新たに図書館を建設した場合は9億円かかりますとお示したところですが、それに加え、エントランス、トイレ、電気・機械設備などの建設費も必要となります。さらに、システム構築、開館準備業務委託などの費用を含めると、約12億円が見込まれます。その他、開館時に約1億円の図書購入費が想定されるため、総額約13億円が見込まれます。また、別途、状況により用地取得費、駐車場整備費、外構工事費なども必要となります。

それに対し、今回予定している図書館設置に係る初期導入費用として、施設改修、システム構築、開館準備業務委託等の費用に約1億5千万円、図書購入費に約1億円、総額2億5千万円程度を見込んでいます。

一方、年間のランニングコストについては、人件費、図書購入費など1億円程度を見込んでおり、イオンモール富津内に設置した場合と、新たに建設した場合、ともに同程度の費用が見込まれます。

なお、単独で建設した場合は、別途、空調設備・電気設備などの点検整備費用及び警備費用などの負担が発生します。

また、人件費に関してですが、指定管理にお願いする予定ですが、それを直営でやった場合は、ここには記しておりませんが、一回りも二回りも大きな金額になってしまうということもございます。

これらが内容の主な修正点でございます。

スケジュールの関係ですが、5ページをご覧ください。

3月に社会教育委員会議で決定して教育委員会に答申としていましたが、予算の決定が3月の市議会で審査されることを念頭に置きまして、その前に基本計画がなければということで、このような日程を組ませていただいております。

2月7日に社会教育委員会議で協議をして、答申（案）として決定できたらと考えております。

<p>高橋委員長</p>	<p>そして、翌週の2月14日の教育委員会で議案として承認されれば、策定となります。</p> <p>次に、その下の令和4年度の予定です。</p> <p>当初、設計施工一括委託を予定していましたが、委託方法を見直すとともに、各種業務を精査し、設計・監理業者公募、内装工事入札、本棚等の什器の契約の箇所を修正しております。</p> <p>以上でございます。</p> <p>事務局の説明は終わりました。委員の皆さんから、ご意見ご質疑を伺いますが、3つのパートに分けて進めたいと思います。</p> <p>まず、項目1～5について、ご意見等ございますか。</p>
<p>森委員</p>	<p>2ページの「3施設の概要」で、契約期間は「営業開始から10年間の予定であり、その後は適切な時期に再契約の協議を進めます。」とありますが、契約の時には、再契約がいつかというのはわからない状況で仕方がないのでしょうか。</p>
<p>伊藤課長補佐</p>	<p>賃貸借契約になりますので、最長10年間という契約になります。その途中で何かあったらという心配の声を多くいただいておりますが、そういうことがないような契約内容にしていまいります。</p> <p>また、冒頭の委員長の挨拶にも他市の図書館のお話がありました。イオンモールもこれから10年経つと、ある程度の年数を経てしまいます。</p> <p>安全面を考慮しますと、大規模な修繕が必要になるというお話は、イオンモール富津のゼネラルマネージャーからもいただいております。その場合、イオンモール富津側が権利者となっていますので、それなりの措置をとっていただけると</p>

	<p>いうお話になっております。</p>
高橋委員長	<p>要は、途中で施設に何かあった場合、イオンモール富津が責任を持って対応してくれるということで、富津市が心配することはないということだそうです。</p>
森委員	<p>ありがとうございました。</p>
高橋委員長	<p>蔵書が将来的には8万冊程度とありますが、8万冊入るだけの余裕はありますか。</p>
伊藤課長補佐	<p>最大で8万冊は並べられます。</p> <p>今のところ、開館冊数だけですので、イオンモール富津からは、これ以外の場所について、共用スペースを閉架書庫や書庫として活用させていただけるというお話をいただいていますので、これが最低限の数としています。</p>
高橋委員長	<p>空いているスペースがあるから、そこも借りられる可能性もあるということですか。</p>
伊藤課長補佐	<p>はい。もう借りられるという話をいただいています。</p>
高橋委員長	<p>本を置くところはあるということだそうです。</p>
宮内委員	<p>「1計画策定の背景及び経緯」の中にある、「富津市にとっては初期導入費用が抑えられ、イオンモール富津にとっては公共の施設を導入することで、地域貢献・社会貢献に寄与する観点から、互いに利点があると考えます。」とありますが、当面考えられる地域貢献・社会貢献の点は、この一文で終わってしまっているのかと思いますが、この点についてはどう</p>

伊藤課長補佐	<p>お考えでしょうか。</p> <p>いわゆる家賃に相当する、月額いくらで賃貸借契約をしますというのですが、今回かなり破格の金額をご提示いただいています。なぜかという、これも地域貢献・社会貢献に寄与するというイオンモール富津からのご意思からのものです。</p>
宮内委員	<p>先ほど、森委員からもお話がありましたが、10年契約という中で、イオンがどうなるかという心配も踏まえた中で、地域貢献・社会貢献は大変素晴らしいと思いますし、今だからこそやらなければという思いもあります。</p> <p>市民の皆さんの中には、果たしてどうだろうという心配の声もあるようですので、しっかりと受け止めてやっていただきたいと思います。</p>
高橋委員長	<p>次に、項目6～9について、ご意見等ございますか。</p>
杉田委員	<p>基本計画（案）のp.8「学校支援サービス」について質問です。基本計画（素案）公開に伴う意見の6ページを併せて見てください。後半の方に、「専任の学校司書の配置につきましては、関係課（学校教育課）と連携を図ってまいります」とありますが、現時点でどのようにお考えでしょうか。</p>
伊藤課長補佐	<p>まずは、生涯学習課としての連携ですが、皆さんに立案していただいた子どもの読書活動計画の内容を検討するときにも、学校教育課と協議をしておりますし、教育長も含めて、一緒に考えているということです。</p> <p>今は規模としては小さな図書施設なので、リクエストがあれば司書が行ってガイダンス等を行ったり、読み聞かせを行</p>

	<p>ったりしているところですが、単元に沿って学校で必要になった本を団体貸出というかたちで一度に 60 冊、100 冊借りたいという場合には、主に県立の中央図書館にご協力いただいています。これが、基幹となる図書館ができると、こういった場合に自分たちで用意できるようになります。</p>
<p>平野部長</p>	<p>補足説明をさせていただきます。</p> <p>来年度の予算として、学校教育課の方で各学校に会計年度任用職員の司書を置きたいということで、現在予算の要求をしているところです。ただ、来年度のことですので、審査や議会の議決がなければなりません、学校教育課の方で予算要求を進めているところです。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>私は、学校の集団貸出について多く発言してきましたが、図書館設立にあたって、学校の図書室の支援のあり方についての声が多いように思います。こういった声をどのように吸い上げてくれるのだろうかと思っていたので、質問いたしました。ありがとうございました。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>関連質問などはありますか。</p>
<p>石井委員</p>	<p>学校支援サービスで先ほど杉田委員がおっしゃったように、どんな具体的なサービスができるかと自分も考えていました。</p> <p>学校におりました時に、移動図書館が来る時間に居合わせたところ、児童が積極的に本を借りているようでした。移動図書館の拠点の学校には、児童たちだけでなく、周辺の住民の方々も来るわけですが、せっかく学校を拠点にさせていただくので、移動図書館の活用について学校教育課と協議していただきたいと思います。</p>

高橋委員長	他にございませんか。
杉田委員	<p>関連して、はっきりと何年前かはわかりませんが、12クラス以上ある学校に、司書の資格をもつ先生を置くという話を石井委員からお聞きしました。その方たちの活用は今どうなっていますか。というのは、小学校の先生は専任の司書ではないので、その取り組みはいかなものかという意見を聞きました。先生に負担がかかっているということを見聞きしているわけですが、現在はどうでしょうか。</p>
岡根教育長	<p>12クラス以上ある学校に研修を受けた司書教諭を置くという話ですが、私も校長の時に学校の図書室の貸出冊数等も含め図書室の状況を把握しようとしたのですが、学校現場はかなり忙しく、そのような状況にはありませんでした。</p> <p>ただ、教育長になった時に、読解力についての話で、子どもたちは長文を読む力が弱いということで、3年位前から読むことに力を入れるよう、各校長先生にお願いしています。</p> <p>また、子どもたちに本を提供する上で、図書室が教室から遠い場所にある学校が多いという問題があります。本も日焼けしてしまっていることもあり、これは頂いた寄付で新しい本を買うなどして対応しております。このようなことから、廊下や教室にも本を置いて貸し出すという取り組みをしています。</p> <p>また、司書教諭の先生だけに頼ってしまうことなく、学級担任など身近な先生がこの本は面白いなどといった話をし、そういったことで、子どもたちが本に親しむようになっていくのではないかと考えています。</p> <p>家でゲームをやる時間は長いですが、本を読む時間はほとんどないという話を聞きます。特に中学生では、まったく本を読</p>

<p>高橋委員長</p>	<p>まない子どもが結構いまして、少しずつ少なくなってきたはいますが、まだ発展途上な状況です。</p> <p>司書教諭の先生方には、一生懸命にやっただいていますが、頼りきりになるのではなく、学校全体で読書を推進してほしいと伝えています。</p> <p>データによると、今年は目標値にあと少し足りませんが、諦めずに取り組んでいただきたいと各校長先生にはお話ししています。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>鳶津委員</p>	<p>司書について、富津市には（専任の）学校司書がいらないが、近隣3市にはいるということを知りました。先ほど、司書を雇うために予算化をしていると聞いて本当にありがたいと思っております。</p> <p>また、新しい図書館で、私が一番心配しているのは、10年間の契約のその後はどうなるのかということです。素案を見ると素晴らしい図書館ですが、その念願の図書館が、10年の後も継続できるように契約していただきたいと思えます。</p> <p>これだけ皆さんが、いろいろな意見を出してつくるものですから、ある程度お金をかけて、イオンからの協力も得てつくるのですが、10年の契約というのが一番気にかかっています。おそらく一般の人たちもそうだと思いますので、このことについて解決できるよう努力していただきたいと思えます。</p>
<p>伊藤課長補佐</p>	<p>先ほども触れましたが、イオンモール富津のゼネラルマネージャーからは、耐震や仮に改築が必要になった場合もその措置を講じてくれるという言葉をいただいています。</p> <p>また、契約上10年契約が最長となっていますが、10年以降</p>

	<p>の契約更新の協議については適宜行っていくということになっています。</p>
<p>鳶津委員</p>	<p>やはり、皆さん心配ですから、それだけは何とか頑張っていたきたいと思います。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>私からも発言させていただきますが、10年経ったら、時代が少し変わるかなと思っています。図書館を単独でつくっていただきたいという思いが続いたら、また時代が変わっていくと思います。そういった思いは、続けていただきたいと思っています。事務局の方には申し訳ないですが。</p> <p>他にございませんか。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>「成人へのサービス」で、レファレンスサービスを充実させるとあり、専門的知識を持つ職員を配置するとあるが、どういう方々をどの程度配置するのかお伺いします。その前のページの「図書館に資料がない場合も、情報を持つ人や博物館・美術館・大学図書館などの機関とつなぐお手伝いをします」という部分を踏まえているわけですが、成人の人たちが「多様な資料を揃え、気軽に利用できる環境づくりに努めます」ということが書かれていますので、この「専門的な知識を持つ職員の配置」というのは、どのようなかたちで考えているのかお伺いします。</p>
<p>伊藤課長補佐</p>	<p>職員というのは我々のことではなく、資料にあります通り、指定管理を想定していますので、その職員を指しています。</p> <p>これに関しては、なぜ直営でなく指定管理なのかというと、開館当初から相応のサービスを提供する体制をとりたいためです。</p> <p>宮内委員のおっしゃった、レファレンスサービスや他の情</p>

	<p>報源との橋渡しをするということは、司書の本来の仕事ですので、一定数配置する必要があります。具体的には、フロアで配架などの作業をする方が5人くらい、カウンターで案内をする方が2人、その他のサービスを含めると、さらに数人必要であると考えます。</p>
宮内委員	<p>ありがとうございました。</p>
高橋委員長	<p>今のように具体的なお質問でも構いません。何かございますか。</p>
石井委員	<p>資料に障害者サービスとありますが、前回の会議で佐藤委員から、障害者の方も気持ちよく図書館を利用できる環境をぜひお願いしたいという意見が出されたと思います。(案)の3ページに平面のイメージ図がありますが、バリアフリーの観点から、車いすの方や白杖をついた方、付き添いの方などいろいろな方がいらっしゃいますので、既存の空間に作るのは大変かとは思いますが、どんな方でも利用できるスペースを確保していただきたいと思います。</p> <p>私は日頃からいろいろな障害者の方から相談を受けており、例えば耳の不自由な方は筆談でなければ意思を伝えられないなど、意思疎通の手法が限られています。ですから、設計というハード面もさることながら、そういったソフト面もサービスの中の一つとして考えていただけたらと思います。</p> <p>また、ボランティアを育成するにあたり研修を行うとありますが、ぜひ研修の中でボランティアの方が図書館サービスのスキルとして、さまざまな方への対応を身に付けられるようにしていただきたいと思います。</p>
伊藤課長補佐	<p>ありがとうございます。前回、佐藤委員からご意見があっ</p>

	<p>たのは、物理的な余裕やソフト面の充実についてでしたが、ぜひ仕様書等にバリアフリーについて明記していきたいと考えております。</p>
<p>鳶津委員</p>	<p>新しい図書館はスペースが限られているので、5ページに「郷土の歴史や文化を伝えます」、「文化財と自然の宝庫ふつつをアピールします」とありますが、こういうものは各公民館にあるので、それを充実させたほうがいいのではないのでしょうか。そして、図書館には、もっと他のものを置いたほうがより有効になるのではないのでしょうか。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>これは新しい図書館だけでなく、公民館も含めて考えているのでしょうか。</p>
<p>伊藤課長補佐</p>	<p>鳶津委員がおっしゃったのは、富津公民館の2階の郷土資料室のことだと思います。図書館での展示については、富津市ならではのものをアピールするという意味で、常設展示でなくとも、期間を定めて、展示をするということを考えています。</p>
<p>鳶津委員</p>	<p>期間を定めてということですね。わかりました。このことにスペースを取ってしまうと、他のものを置くスペースがなくなってしまうような気がしました。もちろん、鋸山や内裏塚古墳などをアピールしてもらうためにも、公民館や市民会館を利用してもらえれば一番いいのではないかと思います。</p>
<p>平野部長</p>	<p>鳶津委員の質問に関連したものが、お手元の「素案にかかる意見の内容と意見に対する考え方」の2ページ、下から2段目にございます。</p>

高橋委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、項目 10～13 について、ご意見等ございますか。</p>
杉田委員	<p>私たち社会教育委員は、公立図書館をイオンモールに設置する案を土台にして、内容を協議するのだと受け止めています。</p> <p>しかし、市民の皆さんの意見を見ると、イオンモールに設置するのはいかがか、というものが多数あります。当初、私も、財源がない中で図書館建設を実現するにはということと、早く図書館が欲しいということとで葛藤がありました。しかし、今は図書館の内容についての協議を頑張ろうと考えています。</p> <p>図書館は育てるものだと思います。近隣の図書館の方たちは、10 数年も前から、図書館の内容について協議を重ねてきており、富津市ではその段階が抜けているため、とても不安でしたが、ここをスタートにして、これから皆でつくっていくのだという思いに切り替えました。</p> <p>それから、市民の方たちには声を上げてほしい。皆さんの意見が通らないことが多いと思いますが、諦めずに声を上げて続けてほしいと思います。これからまた、オープンまでの1年間で、皆さんと協議をする機会を設けられるようにしたいと考えています。</p> <p>もう一つ、図書館には、本のプロである司書さんは欠かせないわけですが、それを総括する館長は、市民サービスに徹することができる方になってほしいと思います。</p>
佐藤委員	<p>すべての市民の方がイオンの中に図書館を設置することに賛成するというのはとても難しいと思います。富津市は細長いですから、金谷方面から青堀方面まですべての人がイオンに行くのは難しいです。ですから、できるだけ多くの方が、</p>

	<p>納得する計画や設計をつくるためにも、市民に最初の段階からオープンにさせていただいて、よりよいものを作ってくださいと思います。</p> <p>また、指定管理者の中には、手話のできる方を配置してほしいと思います。手話はろうあ者の方にとっては言語ですので、ぜひお願いしたいです。</p> <p>そして、子ども達には、スマホやタブレットだけでなく、生の本を読んでほしいと思っています。</p> <p>図書館設備の変更はお金がかかることだと思いますが、できる限り、皆さんに納得してもらえそうな図書館にして欲しいと思います。</p>
高橋委員長	<p>指定管理者の人員についての要望が出ましたが、館長も全部含めて指定管理ですよ。</p>
伊藤課長補佐	<p>はい、そのとおりです。</p>
畠津委員	<p>指定管理者の選定は、入札によるのですよね。</p>
伊藤課長補佐	<p>プロポーザル方式となります。金額もさることながら、内容が大事ですので、その審査をしていきます。</p>
高橋委員長	<p>具体的にはどういうことでしょうか。こういう内容でその仕事を引き受けることができる会社は手を挙げてください、というかたちになるのでしょうか。</p>
伊藤課長補佐	<p>図書館整備基本計画を元に、これを実現させるために、どのようなサービスや体制がとれるかということをご提案いただくこととなります。</p> <p>館長も、指定管理者の方で有資格者を採用していただくこ</p>

	とになります。
高橋委員長	(案)の10ページに図書館協議会とありますが、誰が設置するのですか。館長ですか。
伊藤課長補佐	図書館協議会は、館長の諮問機関です。館長自体も非常勤の特別職とみなすことができますので、その館長が、諮問機関として協議会を設置し、協議会の委員は教育委員会が委嘱するということになっております。 また、協議会委員の内容は、図書館設置条例とともに条例で定めることになっています。
杉田委員	館長は指定管理者の中に入っているということですか。
伊藤課長補佐	はい。その予定です。
平野部長	補足いたします。図書館協議会の委員は条例で制定することになりますが、学識経験者や一般の方の公募も考えております。
鳶津委員	先ほど佐藤委員の言われたように、富津市は細長く、金谷からイオンに行くのに車で約45分かかります。ですから、資料に書いてあるように移動図書館を充実していただき、移動図書館で本所の図書館の利用ができるようにしていただきたいと思います。
高橋委員長	資料の「移動図書館の役割」の中に移動図書館サービス網がありますが、これが決定版でしょうか。
伊藤課長補佐	移動図書館のステーションは、現状では利用者数などを考

高橋委員長	<p>慮して、毎年組み換えを行っています。資料にあるのは現在のもの、来年はまた変わると思います。</p> <p>その都度、変更があるということですね。</p> <p>最後に、全体をとおして何かございますか。</p>
大野委員	<p>「くつろぎと憩いの場所にします」とありますが、君津の図書館では、朝から高齢者が来て、新聞などを読んだり、お弁当を買いに行ったりして、本を読むのではなく、一日そこで過ごしているということが多々あって、どうしたらいいのかということがあったようです。ですから、「憩いの場」というのは良いと思いますが、本を借りたり学習したりという人たちのさまたげにならないように、規則のようなものを考えていただきたいと思います。</p>
杉田委員	<p>「素案にかかる意見の内容と意見に対する考え方」の3ページ目中段に、「(郷土資料は) もっと広い別の場所で保存活用すべき」という一文があります。場所を確保するために、中央公民館と市民会館では、図書リサイクルの会のボランティアの方々が、活動をしてくださった実績がありますが、埋立記念館を活用するという考えはありますか。</p>
伊藤課長補佐	<p>社会教育施設というのは機能が重なる部分があり、展示物を置く場所も図書館であったり、公民館であったりすることがあります。図書館長や職員の資質についても、公民館職員や社会教育主事などに近いのではないかと思います。</p> <p>埋立記念館は分類としては、博物館類似施設となっており、博物館の機能自体は、富津公民館の2階や中央公民館にもあります。</p> <p>昨今の公共施設再配置推進計画等で議論されているのは、</p>

	<p>利用率です。利用率という点では厳しいですが、埋立記念館は小学生等の地場産業の体験学習に有意義な施設です。</p> <p>また、埋立記念館を別の目的で使うということについては、埋立記念館はその名前が示す通り、もともと漁業を行っていた場所を埋め立てて、漁業者の方々が漁業を辞める代わりに記念として建てた施設ですので、その役割は捨てることができません。ただ、和室や会議室は、サークルなどに利用がされています。</p>
杉田委員	<p>毎年、小学校の利用はあるのですか。</p>
伊藤課長補佐	<p>今把握しているところでは、毎年あります。</p>
杉田委員	<p>この前協議をした時、以前、石井委員が児童を引率して埋立記念館へ行った際に、とても良かったと話されていました。小学生の利用をどんどん増やしたいということであれば、教育長さんから働きかけていただければと思います。</p>
岡根教育長	<p>皆さんに埋立記念館をご覧になっていただきたいのですが、若干老朽化しており、展示物が動かなかったりしている状況で、公民館の職員がリニューアルなどを検討しているところです。</p> <p>また、この間の公民館運営審議会で、埋立記念館については使える限り使っていきたいと思いますという結論になりました。</p> <p>子どもたちにも、地場産業の展示ということで啓発していきたいと思います。</p>
宮内委員	<p>私は去年、埋立記念館に4市のメンバーを40人くらい引率して行きました。その時に、他の市の方から、非常に貴重な資料が展示されており、富津の様子が良くわかるというご意</p>

	<p>見をたくさんいただきました。一緒にいた大野委員も、他の市の方に説明をしながら、PRをしていました。埋立記念館はPR次第で更なる利用が見込まれますので、考えていただきたいと思います。</p>
高橋委員長	<p>少し話がずれましたが、図書館について他に何かありますか。</p>
<p>鳶津委員</p>	<p>最初の会議の時に、本を好きになるかならないかという話をしましたが、やはり未就学児の親と子どもたちに読み聞かせの大切さを伝えていただいて、一からやっていくことが一番大切だと思います。移動図書館で保育園などに行って、読み聞かせをして、本を好きになってもらうことも必要だと思います。図書館の利用率が上がるには長い時間がかかると思いますが、それが基本だと思います。</p> <p>新しい図書館ができて、利用率が悪かったら、目も当てられない状態になりますから、ぜひ子どもたちに読み聞かせをやっていただいて、利用率を上げるように考えていただければと思います。</p>
高橋委員長	<p>読み聞かせの事業については考えているのですよね。</p>
伊藤課長補佐	<p>現在、司書が読み聞かせの講師をして、公民館で講座を行っており、底辺を広げる活動をしております。</p> <p>また、0歳児を対象として、絵本を介して親子がコミュニケーションをとるブックスタートという事業を行っております。それが途切れないように、次はセカンドブックというものを県内では進めることになっており、3歳児前後にはサードブックなど、切れ目ないサービスを行っていくつもりです。</p> <p>本館の中でも、児童コーナーの中には、座って読み聞かせ</p>

	<p>ができる場所を作ってまいります。</p>
高橋委員長	<p>皆さんからの意見は要望が多かったように思いますが、案の具体的な修正事項はありますか。なければ、ここで原案の決定について、お諮りしたいと思います。</p> <p>この会議での、特に修正すべき点はなかったことから、本案をもって原案の決定としたいと思いますが、ご異議ございませんか。</p>
各委員	<p>(「異議なし」との声あり)</p>
高橋委員長	<p>ご異議なしと認め、そのように決定いたします。</p> <p>また、軽微な修正については、事務局に一任したいと思いますが、ご異議ございませんか。</p>
各委員	<p>(「異議なし」との声あり)</p>
高橋委員長	<p>ご異議なしと認め、そのように決定いたします。</p> <p>次に、今後のスケジュール等について、今一度、事務局から説明をお願いします。</p>
伊藤課長補佐	<p>(案)の最後のページに今後のスケジュールがあります。</p> <p>まず、本日の社会教育委員会会議で原案が決まりましたので、これについてパブリックコメントで意見募集をします。</p> <p>その前に、市の意思決定機関である庁議と、市民の代表である市議会での説明を行い、その後パブリックコメントで意見を1か月間募集します。今のところ、修正がないようですので、12月21日に公開して、1月20日まで意見募集をする予定です。</p> <p>意見が集まりましたら、今一度取りまとめて、2月7日の</p>

<p>高橋委員長</p>	<p>社会教育委員会議で協議と「計画（案）」としての決定をしていただきます。これはどういうことかという、この計画を社会教育委員会議として立案するという意味で、これを教育長へ答申することになります。</p> <p>その後これを教育委員会で諮り、承認されれば、「計画（案）」から「計画」になります。</p> <p>次に、次第の5、「報告」に入ります。</p> <p>報告事項は1件、君津地方社会教育委員連絡協議会正副会長会議についてです。事務局の説明を求めます。</p>
<p>伊藤課長補佐</p>	<p>先日、4市の正副会長会議が行われました。この会議は、昨年の8月以降開催しておりませんでしたので、まず、内容の再確認をいたしました。</p> <p>君津地方社会教育推進大会については、昨年度の第55回大会の中止に続いて、今年度の第56回大会も中止ということになりましたが、これは50年の歴史の中で初めてのことであります。しかしながら、社会教育功労賞表彰については、昨年同様、実施していくことを確認いたしました。</p> <p>本市の実績について、令和元年度は、公運審から石井光一委員と藤平俊雄委員、令和2年度は、折り紙講師の重田^{ひさこ}寿子さんと、埋立記念館ボランティア「富津すだての会」の松本孝さんでした。</p> <p>そこで、今年度も、社会教育委員、公民館運営審議会委員の中からも、推薦したいと考えていますが、社会教育委員としては、石井喜美子委員が対象となりますので、石井委員を推薦することとしてよろしいか、お諮りいただきたいと思っております。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>事務局の説明は終わりました。社会教育委員の中から石井</p>

各委員	委員を推薦することにご異議ございませんか。
高橋委員長	<p>(「異議なし」との声あり)</p> <p>ご異議なしと認め、そのように決定いたします。</p>
伊藤課長補佐	<p>ありがとうございます。それでは、石井委員を推薦させていただきます。</p> <p>次に、研修についてですが、一昨年以来行われておりません。以前は4市で集まって、大会や研修会に参加していました。今年度につきましては、昨年に引き続き県の補助金がありませんでしたので、残念ながら研修への参加はできませんでした。</p> <p>しかし、11月に実施された東京大会で、お手元にある資料のとおり、動画配信の要項をいただきました。1月いっぱいまで大会の様子がユーチューブで配信されるので、ご覧いただければと思います。</p> <p>また、一つの案として、この動画配信を題材にして、4市でリモート座談会を開いてはどうかという案があります。今年度は木更津市が研修の担当ですので、事務局の富津市と協議し、もし実現可能であるならば、また改めてご案内をいたします。</p>
高橋委員長	事務局からの説明は終わりました。ご質疑等ございますか。
各委員	(「なし」との声あり)
高橋委員長	ないようですので、次に「その他」ですが、まず、事務局から何かございますか。

伊藤課長補佐	<p>それでは次回の会議ですが、2月7日の14時から、この会議室で行います。また、会議の資料は事前に送付いたしますので、よろしくお願いいたします。</p>
高橋委員長	<p>次に、委員の皆さんから、何かございますか。</p>
各委員	<p>(「なし」との声あり)</p>
高橋委員長	<p>ないようですので、以上で、本日の議事はすべて終了しました。</p> <p>議長の職を解かせていただきます。ご協力いただき誠にありがとうございました。事務局へお返しいたします。</p>
樋口課長	<p>高橋委員長、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様には、長時間にわたりご審議いただき誠にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和3年度、富津市社会教育委員会議、第2回臨時会議を閉会といたします。</p> <p>お疲れさまでした。</p>